



灌水コンピューター “ジュニア”

502-300

取扱施工説明書

施工前・使用前に必ずお読みください。

お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。
この取扱施工説明書は、別紙「コンピューター設定説明書」と合わせてご使用ください。

施工の前に……●「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく施工してください。

このたびは、灌水コンピューター“ジュニア”をお求めいただきましてまことにありがとうございます。

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。

注意 取り扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または、物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



必ず実行していただく「強制」を表します。



気をつけていただきたい「注意」を表します。



してはいけない「禁止」を表します。



分解しないでください。

使用上のご注意



- 必ず取りはずしのできる配管に取り付けてください。
- 冬期には凍結破損の恐れがあるため、取りはずしてください。
- 本品を使用しない時は、給水元の水栓ハンドルまたは元栓を閉めてください。
- 乾電池は必ず1.5V単3形アルカリ電池をご使用ください。
(マンガン電池などの使用、および異種電池の混用はしないでください)



- この機器は、屋外設置型です。屋内には、絶対に設置しないでください。
- 土中(散水栓ボックスなど)に取り付けしないでください。
- 地表近く(地面から30cm以下)、横・逆向きには取り付けしないでください。
- 通水方向を逆向きに取り付けしないでください。
- 本体部に衝撃をあたえないでください。破損の恐れがあります。
- 本品にものをのせたり、過度の荷重をかけたりしないでください。破損の恐れがあります。
- お手入れの際、クレンザーなどの目の粗い洗剤やたわし、または酸性洗剤・ベンジン・油などは使用しないでください。表面を傷めたり、破損の原因となります。



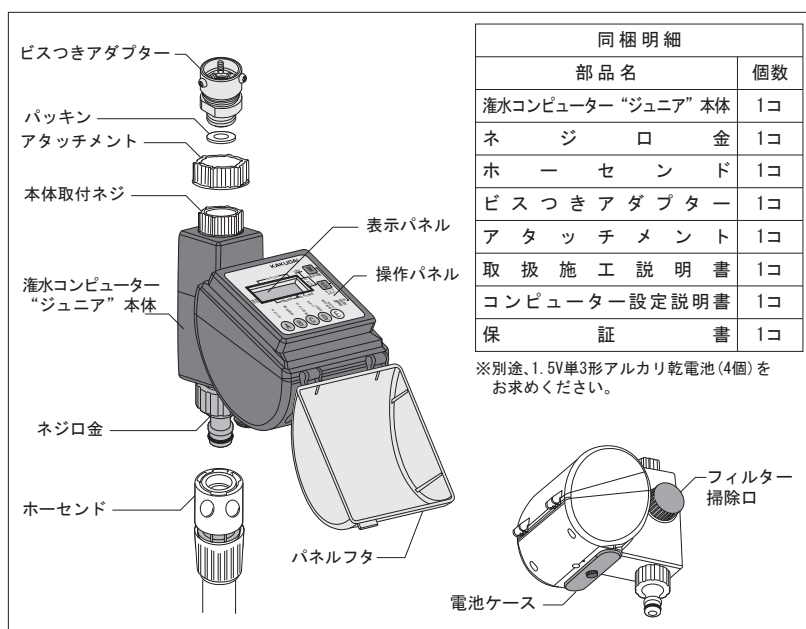
- ノイズの発生原因となるポンプなどの動力機器、またはそれに接続される動力線付近に設置するとノイズで誤動作する場合があります。設置場所には十分ご注意ください。
- 夏期は製品本体の温度上昇によりパネル表示が見えなくなることがありますが品質上、問題ありません。温度が下がればパネル表示は元に戻ります。
- 植物を傷める恐れがありますので日差しの強いときには水やりを避け、早朝か夕方に行ってください。



- 分解・改造はしないでください。
(アダプターを使つてのAC100Vとの結線など)

製品同梱明細・各部のなまえ

*下記をご参照の上、同梱部材をご確認ください。



同梱明細	
部 品 名	個 数
灌水コンピューター“ジュニア”本体	1コ
ネジロ金	1コ
ホーセンド	1コ
ビスつきアダプター	1コ
アタッチメント	1コ
取扱施工説明書	1コ
コンピューター設定説明書	1コ
保証書	1コ

※別途、1.5V単3形アルカリ乾電池(4個)をお求めください。

製品仕様

水やり日の間隔	毎日、1日おき、2日おき、1週間に1日
水やり設定可能時刻	AM 0:00 ~ PM11:59 (1分単位で設定可能)
1日の水やり回数	2回まで (2回目は 6、9、12時間後のいずれか)
1回の水やり時間	1~60分間 (1分間単位で設定可能)
手動水やり時間	30分間 (固定)
使用流体	上水道水
使用温度	0~40℃
使用水圧	0.1~0.5MPa
使用電源	1.5V単3形アルカリ電池4コ
設置場所	屋外
大 き さ	高さ153ミリ×幅87ミリ×奥行132ミリ
重 量	約0.5kg *電池を含む

流量表

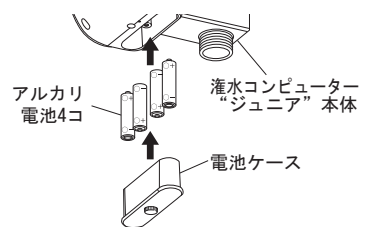
水圧(MPa)	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5
参考流量 L/分	12.7	21.0	25.8	30.3	34.5

取付方法

1. 電池を入れます(交換)。

- ①灌水コンピューター本体底部にある電池ケースをはずし、電池ケースにアルカリ電池4コをセットします。

*電池をはずして長時間放置すると設定内容がすべて消去されますのでご注意ください。



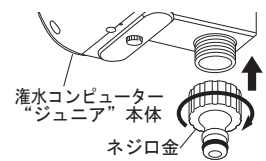
極性(⊕、⊖の向き)に注意して、正しく電池を入れてください。
また、電池を交換する際は必ず4コ同時に交換してください。

- ②電池ケースを閉め、表示パネルが下図のようになるかを確認します。

*長時間放置せずに電池を交換した場合には下図のような表示ではなく、現在時刻表示になります。



- ③ネジロ金よりホーセンドをはずし、灌水コンピューター本体下部に、ネジロ金を取り付けます。

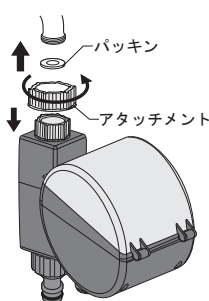


2. 灌水コンピューター“ジュニア”本体を水栓に取り付けます。

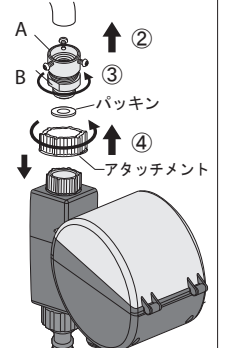
- 水栓の先端形状を確認し、水栓に取り付けます。

そのまま取付可能	ビスつきアダプターで取付可能	取り付けできません
 取付ネジサイズが 管用平行ネジ1/2	 パイプ外径 16ミリ~23ミリ	 特殊な形状 取付ネジサイズが 管用平行ネジ1/2 と異なるもの 自在水栓 地下散水栓

灌水コンピューター“ジュニア”の本体取付ネジにアタッチメントをかぶせ、水栓のネジ部に固定します。



- ①Aのビス3本をゆるめ、AをBとの接続部のネジが見えるまでゆるめておきます。
- ②A内部のパッキンを吐水口にきっちりと当て、ビス3本を「ドライバー」などで均等に締め付けて固定します。
- ③BをAにしっかりとねじ込みます。
- ④灌水コンピューター“ジュニア”本体の取付ネジにアタッチメントをかぶせ、ビスつきアダプターの取付ネジに固定します。

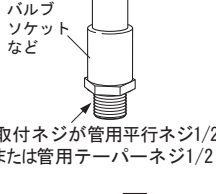


裏面に続く →

取付方法（つづき）

● 塩ビパイプなどの配管に取り付ける場合

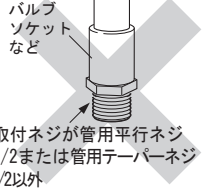
そのまま取付可能



バルブソケット
など

●取付ネジが管用平行ネジ1/2
または管用テーパネジ1/2

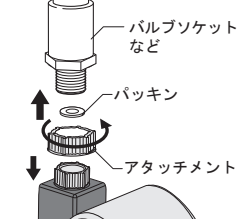
取り付けできません



バルブソケット
など

●本体が横向き、逆向きになるところ
●地面から30cm以下の場所
●土中（散水栓ボックスなど）
●凍結する場所

●取付ネジが管用平行ネジ1/2または管用テーパネジ1/2以外



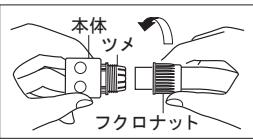
①管用テーパネジに取り付ける場合は、配管のネジ部にシールテープを7～8回巻き付けます。

②灌水コンピューターの本体取付ネジにアタッチメントをかぶせ、配管に固定します。

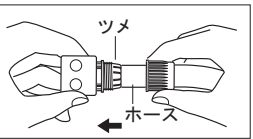
3. ホーセンドにホースを接続します。

● ホーセンドとホースの接続方法

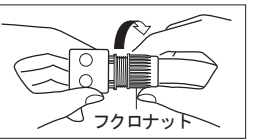
- * 内径12～15ミリ、外径17～20ミリのホースをご使用ください。
- * 水圧が高い場合は耐圧（アミ入り）ホースをご使用ください。



ホーセンドの本体からフクロナットをはずし、フクロナットをホースに通します。



ホースを本体のツメの内側に深く差し込みます。（ホースが入りにくい場合はツメを少し広げてください）

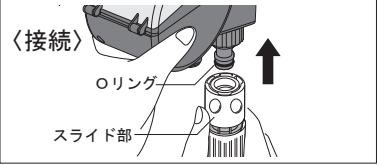


フクロナットを矢印方向にまわして締め付けます。

4. ホースを接続したホーセンドを灌水コンピューター“ジュニア”本体に取り付けます。

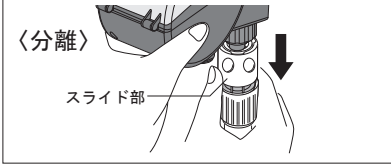
● 0リングに砂などがつかないようにご注意ください。

＜接続＞



ホーセンドのスライド部を持ち、「パチッ」と音がするまで差し込みます。

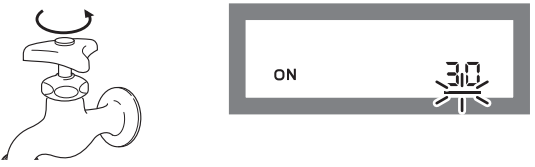
＜分離＞



灌水コンピューター本体を持ち、スライド部をつまんで矢印方向に引きます。

5. 水量を調節します。

①水栓のハンドルを開き、表示パネルの **M** と **S** を同時に押すと水が出ます。水が出たら水栓との接続部分に水もれがないか確認し、水栓のハンドルで水やり量を調節します。（表示パネルは下図のようになります）



②調節が終わりましたら、表示パネルの **M** と **S** を同時に押し水を止めます。

● 他の器具と同時に使用されますと、十分な流量が得られない場合がありますのでご注意ください。

● 取り付け後の点検

ハンドルまたは元栓を開き、水もれがないか確認してください。水もれが発見された場合は、止水栓または元栓を閉めて、水もれする箇所を施工し直してください。

凍結による破損を防止するには…

冬期には凍結破損を防止するため、以下の手順で水栓から灌水コンピューター“ジュニア”本体を取りはずしてください。

取りはずし方

①水やりを行っていないことを確認してから水栓または配管の元栓を閉めます。

②操作パネルの **M** と **S** を同時に押し、本体内の水を抜きます。

③ホーセンドを灌水コンピューター“ジュニア”本体からはずし、ホースを取りはずします。

④水栓または配管から灌水コンピューター“ジュニア”本体、パッキンをはずします。

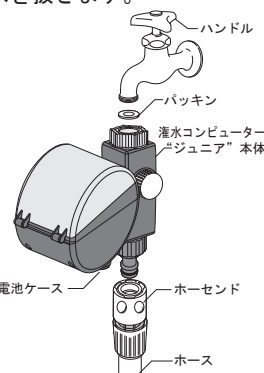
* 取りはずしたパッキンは、なくさないようにご注意ください。

保管方法

①灌水コンピューター本体底部にある電池ケースから電池を取り出します。

②灌水コンピューター本体を軽くふり、中の水分を抜いてから陰干しして乾燥させます。

③直射日光の当たらない、屋内の高温・湿気を避けた場所に保管します。

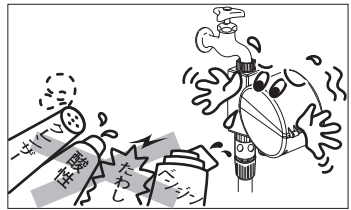


お手入れのしかた

本品の性能を維持するため、以下の手順で灌水コンピューター“ジュニア”本体およびフィルターのお手入れを定期的に行ってください。

● 灌水コンピューター“ジュニア”本体のお手入れ

乾いた布を使ってお手入れしてください。汚れがひどい時は、うすめた食器用中性洗剤を含ませた布で拭き、乾いた布で水気を拭き取ってください。

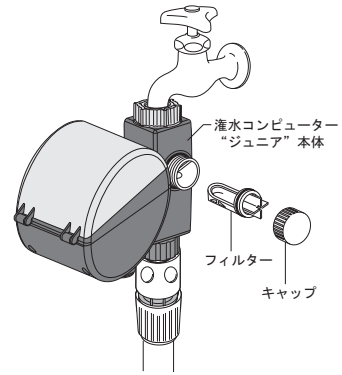


クレンザー・みがき粉などの目の粗い洗剤やたわし、また酸性洗剤・ベンジン・油などのご使用は、本品を傷めますのでご注意ください。

● フィルターのお手入れ

流量が少なくなった時は、フィルターが目詰まりしていることがあります。以下の手順でこまめにお手入れをしてください。

- ①水やりを行っていないことを確認してから水栓または配管の元栓を閉めます。
- ②操作パネルの **M** と **S** を同時に押し、本体内の水を抜きます。
- * 本体内に水が残っていると、水圧でキャップがはずせなくなりますので必ず本体内の水を抜いてください。
- ③キャップをはずし、灌水コンピューター“ジュニア”本体からフィルターを「ペンチ」などで抜き取ります。
- ④フィルターを水洗いし、ゴミを取り除きます。
- ⑤灌水コンピューター“ジュニア”の本体にフィルターとキャップを元のように取り付け、水栓または元栓を開きます。
- * キャップの取り付けが不完全ですと、水もれを起こす可能性がありますのでキャップは確実に取り付けてください。



こんな時には… 簡単な点検と対処

機能が正常に働かない時は、次の要領で点検を行ってください。

現象	原因	対処のしかた
表示パネル（液晶画面）が表示されない	● 電池切れ	● 新しいアルカリ電池4コと交換する
	● 電池が正しくセットされていない	● 電池の極性（⊕、⊖の向き）を確認し、正しくセットする
設定した時刻になっても水やりしない	● 水栓のハンドルまたは元栓が開いていない	● 水栓のハンドルまたは元栓を開く
	● 電池切れ	● 新しいアルカリ電池4コと交換する
	● 水やり設定ON/OFFが“OFF”になっている	● プログラムON/OFFを“ON”に設定する
水やり時の水量が少ない	● 水やり設定が完了していない	● プログラム表示で点滅している項目を設定する
	● 水栓のハンドルまたは元栓が十分に開いていない	● 水栓のハンドルまたは元栓を開き、水量を調節する
	● ホースなどが折れている	● 折れないようにホースなどを設置する
	● ゴミが詰まっている	● 本体内のフィルターや、使用のホースなどにつまっているゴミを取り除く
	● 水道の水圧が低い	● 灌水コンピューター“ジュニア”に接続している器具（スプリンクラー、ノズルなど）の数量を減らす、設置位置を変える
蛇口との接続部分から水もれする	● 灌水コンピューター“ジュニア”に接続している器具が多すぎる	● 灌水コンピューター“ジュニア”に接続している器具（スプリンクラー、ノズルなど）の数量を減らす、設置位置を変える
	● 蛇口に正しく取り付けられていない	● 「取付方法」を参照して取付作業をやり直す

* 以上の点検を行っても正常に働かない場合は、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

ご購入店名（施工業者名）



灌水コンピューター

コンピューター設定説明書

使用前に必ずお読みください。

お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。
このコンピューター設定説明書は、別紙「取扱施工説明書」と合わせてご使用ください。

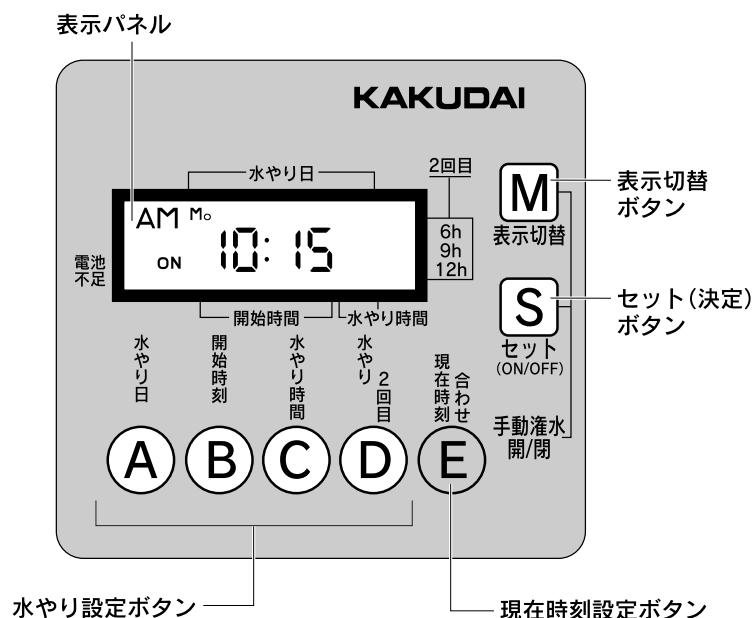
このたびは、灌水コンピューター“ジュニア”をお求めいただきまして
まことにありがとうございます。

水やり設定について

季節や植物に合わせて、自由に水やり設定ができます。

水やり日の間隔	毎日、1日おき、2日おき、1週間に1日
1日の水やり回数	1回 または 2回
水やり設定可能時刻	AM 0:00 ~ PM 11:59 (1分単位で設定可能)
水やり設定	1回目: 自由に設定
	2回目: 1回目の設定から 6、9、12時間後 1日1回の場合は2回目を設定なしにします。
	手動: 随時
1回の水やり時間	設定の時刻での水やり: 1~60分間 (1分単位で設定可能)
	手動での水やり: 30分間 (固定)

●操作パネル



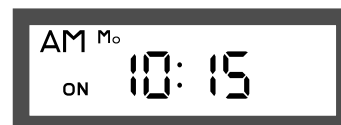
●表示パネル

(説明のためにすべてを表示させたもので、実際の表示ではありません。)



水やり設定について (つづき)

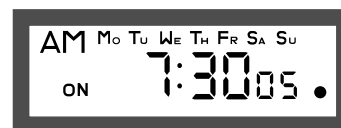
- 表示パネル (表示例)
現在時刻表示 (通常)



水やり表示 (水やり中)



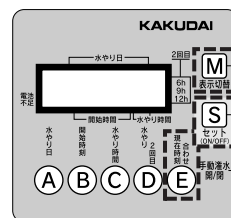
プログラム表示 (水やり設定)



- * 通常は現在時刻表示です。
- * プログラム表示を30秒間放置すると、自動的に現在時刻表示になります。
- * プログラム設定中に1分間放置すると、現在時刻表示になり、設定中のプログラムは無効になりますのでご注意ください。
- * プログラム設定中に、設定を取りやめたい場合は、操作パネルの [M] を押してください。設定は無効になり、現在時刻表示になります。

現在の時刻を合わせる

①表示を切り替える。

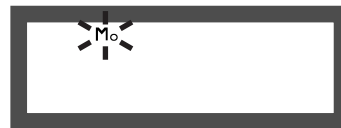


[M] を押し、表示を点滅させます。
[E] を押し、“曜日”、“時”、“分”のみを点滅させます。

* 一度合わせた時刻を修正する時に
[M] を押すとプログラム表示になる
場合がありますが、そのまま[E] を
押してください。

②“曜日”を設定する。

[E] を押し、“曜日”を選びます。



[S] を押し、“曜日”を決定します。

[E] を押すたびに“曜日”の表示が
移動します。

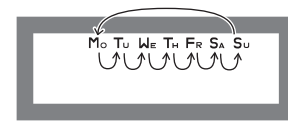


表 示	Mo	Tu	We	Th	Fr	Sa	Su
曜 日	月	火	水	木	金	土	日

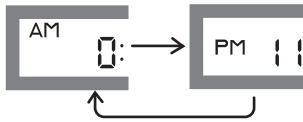
③“時”を設定する。

[E] を押し、“時”を選びます。



[S] を押し、“時”を決定します。

[E] を押すたびにAM0時(午前0時)
からPM11時(午後11時)の間
で1時間ごとに表示が進みます。



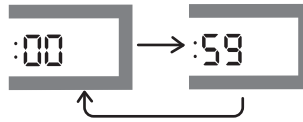
④“分”を設定する。

[E] を押し、“分”を選びます。

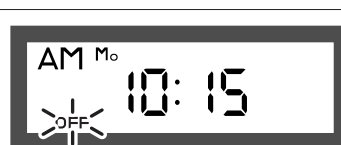


[S] を押し、“分”を決定します。

[E] を押すたびに0分から59分の
間で1分ごとに表示が進みます。



⑤現在の時刻が設定できました。



* 水やり設定についても各ボタン([A]~[D])を押すたびに上記と同様に表示が進みます。

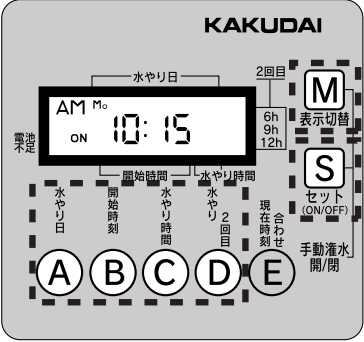
水やり設定のしかた

水やり設定を以下のようにしてみましょう

水やり日の間隔	1日おき
1日の水やり回数	2回
水やり時刻	1回目：AM 7：30
	2回目：1回目から12時間後
1回の水やり時間	5分間
現在の時刻	AM 10：15、月曜日

* 水やり設定後、特定の項目だけを変更する場合は変更したい項目のみ、再度設定してください。(全ての項目を設定する必要はありません)

①表示を切り替える。

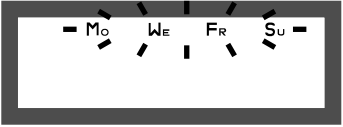


[M] を押し、プログラム表示にします。

* 初めてプログラムを設定するときは [M] を押すと表示が点滅しますが、そのまま [A] を押しください。
“水やり日”の表示が点滅します。

②水やり日の間隔を設定する。

- [A] を押し、“水やり日”の表示を点滅させます。
- [A] を押し、水やり日の間隔を選びます。



- 水やり日の間隔を毎日、1日おき、2日おき、1週間に1日から選びます。
- * 水やり日の間隔は現在の曜日を基準にして設定されますので、月曜日 (Mo) を基準として設定すると以下ようになります。

毎 日	Mo Tu We Th Fr Sa Su
1日おき	Mo We Fr Su
2日おき	Mo Th Su
1週間に1日	Mo

* 1日おき、2日おきにしても、水やり日が連続する曜日があります。
この「設定例」の場合、日曜日と月曜日は連続して水やりします。

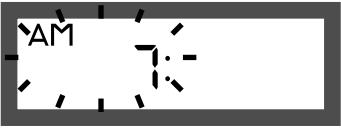
- [S] を押し、水やり日の間隔を決定します。

③1回目の水やり時刻を設定する。

- [B] を押し、“開始時間”の表示を点滅させます。

- “時”を設定します。

- [B] を押し、“時”を選びます



- [S] を押し、“時”を決定します。

- “分”を設定します。

- [B] を押し、“分”を選びます。



- [S] を押し、“分”を決定します。

④1回の水やり時間を設定する。

- [C] を押し、“水やり時間”の表示を点滅させます。

- “時間(分)”を設定します。

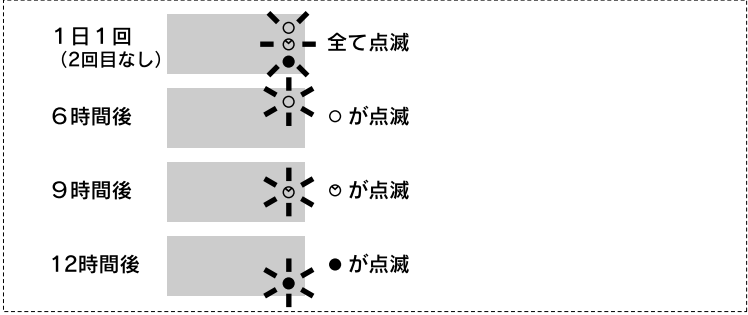
- [C] を押し、水やりの時間を選びます。



- [S] を押し、水やりの時間を決定します。

⑤2回目の水やり時刻を設定する。

- [D] を押し、“2回目”の表示を点滅させます。
- [D] を押し、2回目の水やり時刻を選びます。
- 1回目の水やり開始時刻から、1日1回(2回目なし)、6時間後、9時間後、12時間後のいずれかを選びます。



- [S] を押し、2回目の水やり時刻を決定します。
- 選んだ表示マークが点灯に変わります。
- 1日1回(2回目なし)の場合は、全ての表示マークが消えます。

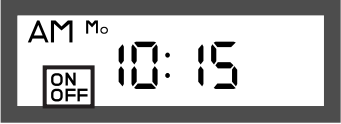
⑥これでプログラム設定ができました。



- * ON/OFF表示が“ON”になっていることを確認します。OFFになっている場合は、「水やり設定の実行と解除」をご覧ください。
- * OFFが点滅している場合は、水やり設定が完了していませんので、設定を確認してください。

● 水やり設定の実行と解除

水やり設定ON/OFFを“ON”にすると、設定した水やりを実行します。
“OFF”にすると、設定した水やりは実行されません。
* “OFF”にしても、水やり設定の内容は保持されます。



(水やり設定ON/OFFの切り替え方法)

[M] を押して、プログラム表示にし、[S] を2秒間押すと、“ON”“OFF”が切り替わります。

● 手動での水やり方法

[M] と [S] を同時に押すと、水やり設定に関係なく30分間水やりし、自動で停止します。
(表示パネルは右図のようになります。)
* 手動での水やり時間(30分間)は変更できません。



● 水やりの強制停止

自動での水やり、もしくは手動での水やりを強制的に停止する場合は [M] と [S] を同時に押します。
* 強制的に停止しても、水やり設定の内容は保持されます。

● 電池の交換

電池の交換時期になると [S] が点滅します。必ず4コ同時に交換してください。
(交換方法は取扱施工説明書をご覧ください。)
* 1.5V単3形アルカリ電池4コで約1年間使用できます。



電池不足表示が点滅したら、すみやかに新しい電池(アルカリ電池)と交換してください。

ご購入店名(施工業者名)



本社 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-4 ☎ (06) 6538-1124